make work attractive

「魅力ある職場づくり」推進に向けた各企業の取組

R8.10.9

株式会社　三義漆器店　様

会社概要

事業内容　漆器および合成漆器の製造
所 在 地　会津若松市門田町大字一ノ堰字土手外
　　1998番地の３

当社の働き方改革の主な取組

○　労働時間の削減と業務効率化

「長時間働く」ではなく「生産性を高めて効率的に働く」ことを重視し、自動塗装設備等の導入や工程改善により、時間外労働は月平均 0.5～1.0時間／人 と低水準を維持しています。また、QCサークルである「NCサークル活動（※）」により、若手が意見を言いやすい環境を整備。マニュアル動画を自主作成するなど、主体性とコミュニケーションが向上し、現場からのボトムアップで改善が進む職場となっています。（※）NSサークル活動 ＝ New Sanyoshiサークル活動

○　仕事と家庭の両立支援

従業員が相談しやすい「実家のような会社」を目指し、柔軟な働き方を実現。土日祝で託児所が利用できない場合等は、子どもを会社に連れて出勤できるなど、家庭事情に寄り添った支援を行っています。また、家庭事情による突発的な欠員にも対応できるよう、多人数でのローテーションを組み、部署を越えて応援できる体制を構築しています。

○　女性・障害者を含めた多様な人材の活躍の推進

技術職含め幅広い業務で女性が活躍。技術者の 50% が女性で、性別に関係なく能力・意欲に応じて責任ある仕事を任せています。また、障害者の多数雇用も。作業手順書を画像付きで細分化し、勤務時間を調整するなど、個々の状況に応じた柔軟な働き方を可能にし、障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度である「もにす認定」の認定も受けています。

○　技術継承と人材育成

伝統技術を次世代につなぐため、若手への技能継承を重視しています。「見て覚える」から脱却し、手の動きをデータ化するなどデジタル技術も活用。「働く人が幸せになり、新しい人が来てくれるからこそ技術は継承される」という考えのもと、働きやすさと企業成長を両立しています。

曽根代表取締役から商品の説明を受ける平山総務部長



意見交換の様子

